

和

大甲第一七九號

案起

昭和十八年六月十八日

閣議決定

昭和十八年六月二十一日

裁可

昭和十八年六月二十六日

內閣總理大臣



內閣書記官長

生

內閣書記官



外務大臣

長

海軍大臣

五

商工大臣

五

大東亞大臣

表

內務大臣

秀

司法大臣

五

遞信大臣

五

鈴木國務大臣



大藏大臣

興

文部大臣

五

鐵道大臣

五

大藏國務大臣

達

陸軍大臣



農林大臣

五

厚生大臣

五

後藤國務大臣



別紙兩院ノ議決ヲ經タル企業整備資

金措置法案ヲ審査スルニ右ハ貴族院議長上奏ノ通裁可ヲ奏請セラレ然ルベシト認ム

上諭案

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル企業整
備資金措置法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ

公布セシム

御名 御璽

昭和十八年六月二十五日

内閣總理大臣

内務大臣

大藏大臣

陸軍大臣

海軍大臣

司法大臣

農林大臣

商工大臣

遞信大臣

鐵道大臣

厚生大臣

(上卷ノ末)

憲法

内
閣

外、雜

商事、一、出、又

貴族院ハ兩院ノ議ヲ經タル
企業整備資金措置法案ノ
裁可ヲ奏請ス

昭和十八年六月十八日

貴族院議長伯爵松平頼壽



企業整備資金措置法

第一條 本法ハ大東亞戰爭ニ際シ企業整備ニ關シ之ガ促進ヲ圖リ浮動購買力ノ發生ヲ防止シ國家經濟ノ秩序ヲ維持スルヲ以テ目的トス

第二條 政府ハ前條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ廢止又ハ休止シタル事業ニ屬スル設備、權利其ノ他ノ資産ノ保有ヲ爲シ又ハ保有若ハ處分ノ目的ヲ以テスル買取ヲ爲ス者ニ對シ其ノ保有若ハ買取ニ因リ蒙リタル損失ヲ補償シ又ハ補助金ヲ交付スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ主務大臣大藏大臣ニ協議シテ之ヲ定ム

第一項ノ補償金及補助金ノ額ニ付テハ豫メ帝國議會ノ協贊ヲ求ムベシ

第三條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ補償金

又ハ土地、建物、船舶、設備若ハ權利ノ買收代金ノ債務ニ付其ノ全部又ハ一部ノ支拂ニ代ヘ之ヲ債主ヨリノ政府特殊借入金ト爲シ又ハ債主ニ對シ當該買收代金ノ全部若ハ一部ヲ第六條若ハ第七條ノ規定ニ準ジ債主ノ特殊預金若ハ債主ヲ信託者及受益者トスル特殊金錢信託ト爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第四條 左ノ各號ノ場合ニ於ケル金錢債務ノ決濟ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第五條ニ規定スル決濟方法ニシテ債權者又ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ選擇シタルモノニ依リ之ヲ爲ス

コトヲ要ス

- 一 事業ノ全部又ハ一部ノ讓渡アリタルトキ
- 二 事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ全部又ハ一部ノ讓渡又ハ收用アリタルトキ
- 三 株式又ハ出資ノ持分ノ讓渡アリタルトキ
- 四 其ノ他勅令ヲ以テ定ムルトキ

前項ノ規定ハ國民更生金庫ガ國民更生金庫法第十七條ノ規定ニ依リ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ國民更生金庫ヲ債務者、資金ノ融通ヲ受クル者ヲ債權者ト看做ス

第五條 前條ノ金錢債務ノ決濟方法ハ左ノ五種トス

- 一 特殊預金ト爲スコト
- 二 特殊金錢信託ト爲スコト
- 三 債務者特殊借入金ト爲スコト
- 四 戰時金融金庫特殊借入金ト爲スコト
- 五 政府特殊借入金ト爲スコト

第六條 特殊預金ノ方法ニ依ル決濟ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ政府ノ指定スル金融機關ヘノ債權者ノ預金ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ當該金融機關ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特殊預金ノ取扱ヲ爲スコトヲ要ス
第一項ノ場合ニ於テ政府必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該金融機關ニ對
シ債務者ニ當該特殊預金ヲ爲スニ必要ナル資金ノ融通ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第七條 特殊金錢信託ノ方法ニ依ル決濟ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支拂フベキ金
額ノ全部又ハ一部ヲ政府ノ指定スル金融機關ヘノ債權者ヲ信託者及受益者トスル金錢信託
ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

前條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八條 債務者特殊借入金ノ方法ニ依ル決濟ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支拂フベ
キ金額ノ全部又ハ一部ヲ債權者ヨリノ債務者ノ借入金ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

第九條 戰時金融金庫特殊借入金ノ方法ニ依ル決濟ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支
拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ戰時金融金庫ニ納付シ債權者ヨリノ戰時金融金庫ノ借入金

ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

第六條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十條 政府特殊借入金ノ方法ニ依ル決濟ハ債務者が命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ政府ニ納付シ債權者ヨリノ政府ノ借入金ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ政府必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ債務者ノ納付スベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ納付セシメズシテ之ヲ債務者ニ對スル政府特殊債權ト爲スコトヲ得

第十一條 政府特殊借入金、特殊預金、特殊金錢信託、債務者特殊借入金、戰時金融金庫特殊借入金、政府特殊債權及第六條第三項（第七條第二項及第九條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リ融通スル資金ノ利率、期限其ノ他ノ條件ハ大藏大臣之ヲ定ム

第十二條 特殊預金又ハ特殊金錢信託ノ期限前ノ拂戻又ハ解除及債務者特殊借入金又ハ戰時

金融金庫特殊借入金ノ期限前ノ償還ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府特殊借入金ノ全部又ハ一部ニ付期限前ノ償還ヲ爲スコトヲ得

第十三條 政府ハ特殊預金又ハ特殊金錢信託ノ取扱ヲ爲ス金融機關ニ對シ補助金ヲ交付シ又ハ第六條第三項(第七條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ資金ノ融通ヲ爲シタルニ因リ蒙リタル損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ大藏大臣之ヲ定ム

第一項ノ補助金及補償金ノ額ニ付テハ豫メ帝國議會ノ協贊ヲ求ムベシ

政府ハ債務者特殊借入金又ハ戰時金融金庫特殊借入金ノ元利支拂ヲ保證スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

第十條第一項ノ政府特殊借入金及前項ノ規定ニ依リ保證スベキ元本ノ額ニ付テハ之ヲ通ジ豫メ帝國議會ノ協贊ヲ求ムベシ

第十四條 政府特殊借入金、特殊預金、特殊金錢信託、債務者特殊借入金及戰時金融金庫特殊借入金ノ債權ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ノ場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 政府ノ指定スル金融機關ニ讓渡セントスルトキ

二 政府ノ指定スル金融機關ニ擔保ニ供シテ貸付ヲ受ケントスルトキ

三 其ノ他勅令ヲ以テ定ムルトキ

前項各號ノ場合ニ於テ前項ノ認可アリタルトキハ當該金融機關ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ債權ヲ讓受ケ又ハ之ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ當該金融機關ハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ前項ノ債權ノ讓受又ハ之ヲ擔保トスル貸付ノ業務ヲ行フコト

ヲ得

前項ノ規定ハ元利支拂ニ付政府ノ保證ナキ債務者特殊借入金ノ債權ニ關シテハ之ヲ適用セズ

第一項ノ規定ハ第一項ノ債權ニ對シ強制執行又ハ國稅徵收法ノ規定若ハ國稅徵收ノ例ニ依ル滯納處分ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

第十五條 政府特殊借入金及政府特殊債權ニ關スル事務ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ日本銀行ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

前項ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ハ日本銀行ノ負擔トス

政府ハ日本銀行ニ命ジ政府特殊借入金ノ元利支拂ヲ爲サシムル爲之ガ資金ヲ日本銀行ニ交付スルコトヲ得

第十六條 本法ニ規定スルモノノ外政府特殊借入金、特殊預金、特殊金錢信託、債務者特殊借

入金、戰時金融金庫特殊借入金、政府特殊債權及第六條第三項（第七條第二項及第九條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リテ爲ス資金ノ融通ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 命令ヲ以テ定ムル會社ノ營業ノ全部ノ讓渡又ハ解散ニ關スル株主總會若ハ社員總會ノ決議又ハ總社員ノ同意ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

命令ヲ以テ定ムル會社ハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ存立時期ノ滿了其ノ他定款ニ定メタル解散事由ノ發生ニ依リテハ解散セズ

第十八條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ヲ以テ定ムル會社ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ目的若ハ存立時期其ノ他解散事由ニ關シ定款ノ變更ヲ命ジ又ハ會社ヲ繼續スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十九條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ設備、權利其ノ他ノ資産ノ出資又ハ讓渡等ニ因リ資産ノ大部分ガ有價證券又ハ債權ト爲リタル會社ニ對シ信託會社又ハ信託業務ヲ營ム銀行(以下信託業者ト總稱ス)ニ其ノ資産ヲ信託シ又ハ其ノ資産ノ管理ヲ委託スベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ信託業者ハ資産ノ信託ノ引受ヲ爲シ又ハ資産ノ管理ヲ受託スルコトヲ要ス

前二項ノ場合ニ於テハ信託業者ハ信託業法第四條ノ規定ニ拘ラズ同條ニ掲グル財産以外ノ財産ノ信託ノ引受ヲ爲スコトヲ得

政府ハ第一項ノ規定ニ基ク命令ニ依リ信託業者ニ其ノ資産ヲ信託シ又ハ其ノ資産ノ管理ヲ委託シタル會社ニ對シ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ役員ノ數ヲ減少スベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ資産ヲ信託シ又ハ資産ノ管理ヲ委託シタル會社ノ株主總會又ハ社員總會ノ招集ニ關シテハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第二十條 企業整備ニ關シ營業ノ全部又ハ一部ヲ廢止又ハ休止シタル會社及法令、法令ニ基ク命令又ハ行政官廳ノ指導若ハ斡旋ニ依リ繼續又ハ合併ヲ爲シタル會社ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受ケ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ其ノ經理ニ付必要ナル措置ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ會社ノ資本ノ増加ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ又ハ其ノ減少ヲ制限スルコトヲ得

第二十二條 企業整備ニ關シ法令、法令ニ基ク命令又ハ行政官廳ノ指導若ハ斡旋ニ依リテ爲ス會社ノ設立、繼續、定款ノ變更、營業ノ全部若ハ一部ノ讓渡若ハ讓受、合併又ハ資本ノ増加ニ關シテハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 命令ヲ以テ定ムル法人解散シタルトキハ其ノ殘餘財産ノ分配ハ金錢以外ノモノヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ法人ノ清算人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ法人財産ノ換價其ノ他ノ處分及殘餘財産ノ分配ニ付裁判所ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

裁判所ハ第一項ノ法人ノ清算人ニ對シ法人財産ノ換價其ノ他ノ處分及殘餘財産ノ分配ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

行政官廳ハ第一項ノ法人ノ清算ニ關シ裁判所ニ對シ必要ナル意見ヲ述ブルコトヲ得

第二十四條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ企業整備ニ關シ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止又ハ休止シタル者、事業ニ屬スル設備、權利其ノ他ノ資産ヲ取得又ハ處分シタル者及此等ノ者ト債務關係アル者ノ金錢債務ノ條件、擔保等ノ調整ニ關シ命令ノ定ムル所ニ依リ必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得

政府ハ前項ノ規定ニ依ル指示ニ從ヒタル者ニ對シ其ノ指示ニ從ヒタルニ因リ蒙リタル損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ大藏大臣之ヲ定ム

第二項ノ補償金ノ額ニ付テハ豫メ帝國議會ノ協贊ヲ求ムベシ

第二十五條 政府ハ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

第二十六條 本法ノ施行ニ關スル重要事項ニ付政府ノ諮問ニ應ズル爲企業整備資金委員會ヲ置ク

企業整備資金委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條 企業整備ニ關シ轉業又ハ廢業ヲ爲ス商工業者等ガ國民更生金庫ニ對シ讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲ス資産ノ評價ニ關スル事項ハ轉廢業者資産評價委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

企業整備ニ關シ産業設備營團ガ産業設備營團法第十七條第一項第一號又ハ第五號ノ規定ニ依リ買受クル設備ノ評價ニ關スル事項ハ産業設備評價委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

轉廢業者資産評價委員會及産業設備評價委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勅令ヲ以テ定ムル者ヲシテ本法ニ規定スル職權ノ一部ヲ行ハシムルコトヲ得

第二十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第三條ノ規定ニ基ク命令ニ違反シタル者

二 第四條ノ規定ニ違反シタル者

三 第二十三條第二項ノ規定ニ違反シ又ハ同條第三項ノ規定ニ基ク命令ニ違反シタル者

第三十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ六月以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第六條第二項(第七條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ違反シタル者

二 第十二條第一項ノ規定ニ違反シタル者

三 第十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者

四 第十八條ノ規定ニ基ク命令ニ違反シタル者

五 第十九條第一項若ハ第四項ノ規定ニ基ク命令ニ違反シ又ハ同條第二項ノ規定ニ違反シ

タル者

六 第二十一條ノ規定ニ基ク命令又ハ制限ニ違反シタル者

七 第二十五條ノ規定ニ依ル臨檢検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

第三十一條 第二十五條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ本法若ハ本法

ニ基キテ發スル命令ニ依リ提出スル書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處

ス

第三十二條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ

人ノ業務ニ關シ第二十九條、第三十條第一號乃至第六號又ハ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ各本條ノ罰金刑ヲ科ス

第三十三條 當該官吏其ノ他勅令ヲ以テ定ムル者、第二十八條ノ規定ニ依リ政府ノ職權ノ一部ヲ行フ者(其ノ者ガ法人ナルトキハ當該職權ニ屬スル事務ニ從事スル職員)、政府特殊借入金若ハ政府特殊債權ニ關スル事務ニ從事スル日本銀行職員又ハ此等ノ職ニ在リタル者本法ニ依ル職務執行ニ關シ知得タル法人又ハ人ノ業務上ノ祕密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十四條 本法ヲ朝鮮又ハ臺灣ニ施行スル場合ニ於テ必要アルトキハ勅令ヲ以テ特別ノ定ヲ爲スコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

臨時租稅措置法中左ノ通改正ス

第一條ノ四ニ左ノ一號ヲ加フ

六 法人ノ命令ヲ以テ定ムル場合ニ於ケル資産ノ評價換ニ因ル益金

第一條ノ十八中「命令ヲ以テ定ムル者ニ」ヲ削リ「有價證券」ノ下ニ「其ノ他命令ヲ以テ定ムルモノ」ヲ加フ

第一條ノ二十八中「命令ヲ以テ定ムル者ニ」ヲ削ル

第一條ノ二十九 企業整備資金措置法ニ規定スル政府特殊借入金ノ利子ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ分類所得稅ヲ輕減シ又ハ所得稅法ニ依ル所得若ハ法人稅法ニ依ル所得ノ計算ニ關シ特例ヲ設クルコトヲ得

命令ヲ以テ定ムル金融機關ガ前項ノ政府特殊借入金ノ債權ヲ擔保トシテ貸付ケタル貸付金ノ利子ニ付テハ法人稅法ニ依ル所得ノ計算ニ關シ命令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第一條ノ三十 法令、法令ニ基ク命令又ハ行政官廳ノ指導若ハ斡旋ニ依リ昭和十八年一月一日以後ニ於テ其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止又ハ休止シタル法人ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ廢止又ハ休止ノ日以後ニ於テ納付スベキ所得稅、法人稅、營業稅又ハ臨時利得稅ヲ輕減スルコトヲ得

企業救正備資金措置法案

右衆議院ノ議決ヲ經タル政府提出案本院ニ於
テ可決セリ依テ御執奏相成度議院法第三十一
條ニ依リ此段申進候也

昭和十八年六月十八日

貴族院議長伯爵松平賴壽



内閣總理大臣東條英機殿



企業整備資金措置法案帝國議

會へ提出ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十八年六月十四日

内閣總理大臣東條英機



(5)

Item 5 removed by F. Peron
30 OCT. 1947 - S.P.

83
F3 2.3 11

大甲一七九

六月十四日裁可

昭和八年六月 日

內閣書記官長

內閣書記官

內閣總理大臣



法制局長官



外務大臣

長

海軍大臣

大

商工大臣

五

大東亞大臣

表

內務大臣

新

司法大臣

必

遞信大臣

至

鈴木國務大臣

通

大藏大臣

興

文部大臣

鐵道大臣

遠

大藏國務大臣

通

陸軍大臣

農林大臣

力

厚生大臣

海

後藤國務大臣

通

別紙內務大藏司法商工四大臣請議企業整備資金措置法案

法制局

ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ通
閣議決定帝國議會ニ提出セラレ可然ト認ム

法律案

呈案附箋ノ通

企業整備資金措置法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

昭和十八年六月十六日 衆

内閣總理大臣

内務大臣

大藏大臣

陸軍大臣

海軍大臣

法司

司法大臣

農林大臣

商工大臣

遞信大臣

鐵道大臣

厚生大臣

法制局

法制局大第一一六號

昭和十八年六月十日

官房祕第一一六號

擔任官 大藏省總務局大藏書記官 野田卯一

大東亞戰爭ノ進展ニ伴ヒ企業ノ整備ヲ促進シ浮動購買力ノ發生ヲ防止
シ國家經濟ノ秩序ヲ維持スルノ爲ニハ新ナル方策ヲ講ズル要アルニ依
リ之ニ關スル法律案ヲ第八十二回帝國議會ニ提出セントス
仍テ別紙法律案竝ニ同理由書ヲ具シ茲ニ閣議ヲ請フ

昭和十八年六月十日

大藏大臣 賀屋 興 宣



司法大臣 岩村 通 世



大甲 一七九

大藏省

商工大臣 岸

信介



内閣總理大臣 東條

内務大臣 安藤 紀三郎
英機殿



企業整備資金措置法

第一條 本法ハ大東亞戦争ニ際シ企業、
整之ガ促進、浮動購買力ノ發
生ヲ防止シ國家經濟ノ秩序ヲ維持スルヲ以テ目的トス

第二條 政府ハ前條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ廢止又ハ
休止シタル事業ニ屬スル設備・權利其ノ他ノ資産ノ保有ヲ爲シ又ハ
保有若ハ處分ノ目的ヲ以テスル買取ヲ爲ス者ニ對シ其ノ保有若ハ買
取^三因^四リ蒙リタル損失ヲ補償シ又ハ補助金ヲ交付スルノ契約ヲ爲ス
コトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ主務大臣大藏大臣ニ協議シテ之ヲ定ム
第一項ノ補償金及補助金ノ額ニ付テハ豫メ帝國議會ノ協賛ヲ求ムベ

シ

第三條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認テ所ニ依リ補償金

又ハ土地・建物・船舶・設備若ハ權利ノ買收代金ノ債務ニ付其ノ全

部又ハ一部ノ支拂ニ代ヘ、、、、、之ヲ、、、、、

、、、、、債主ヨリノ政府特代金ノ全部若ハ一部ヲ第六條若ハ第七條ノ

規定ニ準ジ債主ノ特殊預金若ハ債主ヲ信託者及受益者トスル特殊金

錢信命ズルコトヲ得

第四條 左ノ各號ノ場合ニ於ケル金錢債務ノ決濟ハ勅令ノ定ムル所ニ

依リ第五條ニ規定スル決濟方法ニシテ債權者又ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ選擇シタルモノニ依リ之ヲ爲スコトヲ要ス

一 事業ノ全部又ハ一部ノ讓渡アリタルトキ

二 事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ全部又ハ一部ノ讓渡又ハ收用アリ

タルトキ

三 株式又ハ出資ノ持分ノ讓渡アリタルトキ

四 其ノ他勅令ヲ以テ定ムルトキ

前項ノ規定ハ國民更生金庫ガ國民更生金庫法第十七條ノ規定ニ依リ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ國民更生金庫ヲ債務者、資金ノ融通ヲ受クル者ヲ債權者ト看做ス

第五條 前條ノ金銭債務ノ決済方法ハ左ノ五種トス

一 特殊預金ト爲スコト

二 特殊者^{債務者} 錢信託ト爲スコト

三 特殊借入金ト爲スコト

四 戦時金融金庫特殊借入金ト爲スコト

五 政府特殊借入金ト爲スコト

第六條 特殊預金ノ方法ニ依ル決済ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ文拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ政府ノ指定スル金融機關ヘノ債權者ノ預金ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ當該金融機關ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特殊預金ノ

取扱ヲ爲スコトヲ要ス

第一項ノ場合ニ於テ政府必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該金融機關ニ對シ債務者ニ當該特殊預金ヲ爲スニ必要ナル資金ノ融通ヲ爲スベキコトヲ命スルコトヲ得

第七條 特殊金銭信託ノ方法ニ依ル決済ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ政府ノ指定スル金融機關ヘノ債權者ヲ信託者及受益者トスル金銭信託ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

前條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八條 債務者特殊借入金ノ方法ニ依ル決済ハ債務者ガ命令ノ定ムル

所ニ依リ其ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ債權者ヨリノ債務者ノ借入金ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

第九條 戰時金融金庫特殊借入金ノ方法ニ依ル決濟ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ戰時金融金庫ニ納付シ債權者ヨリノ戰時金融金庫ノ借入金ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

第六條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十條 政府特殊借入金ノ方法ニ依ル決濟ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ政府ニ納付シ債權者ヨリノ政府ノ借入金ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ政府必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依
リ債務者ノ納付スベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ納付セシメズシテ之ヲ
債務者ニ對スル政府特殊債權ト爲スコトヲ得

第一項ノ政府特殊債權ノ入金ノ額ニ付テハ政府ノ管理監督スル

第十一條 政府特殊借入金、特殊預金、特殊金銭信託、債務者特殊借入金、戦時金融金庫特殊借入金、政府特殊債権及第六條第三項（第七條第二項及第九條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リ融通スル資金ノ利率、期限其ノ他ノ條件ハ大藏大臣之ヲ定ム

第十二條 特殊預金又ハ特殊金銭信託ノ期限前ノ拂戻又ハ解除及債務者特殊借入金又ハ戦時金融金庫特殊借入金ノ期限前ノ償還ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス
政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府特殊借入金ノ全部又ハ一部ニ付期限前ノ償還ヲ爲スコトヲ得

第十三條 政府ハ特殊預金又ハ特殊金銭信託ノ取扱ヲ爲ス金融機關ニ

對シ補助金ヲ交付シ又ハ第六條第三項（第七條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リ資金ノ融通ヲ爲シタルニ因リ蒙リタル損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ大藏大臣之ヲ定ム

第一項ノ補助金及補償金ノ額ニ付テハ豫メ帝國議會ノ協賛ヲ求ムベシ
政府ハ債務者特種債ノ發行ノ爲メ帝國議會ノ協賛ヲ求ムベシ
利支拂ヲ

保證スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

第十條第一項ノ政府特殊借入金及、前項ノ規定ニ依リ保證スベキ元本

ノ額ニ付テハ豫メ帝國議會ノ協賛ヲ求ムベシ

對シ補助金ヲ交付シ又ハ第六條第三項（第七條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リ資金ノ融通ヲ爲シタルニ因リ蒙リタル損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ大藏大臣之ヲ定ム

政府ハ債務者特殊借入金又ハ戰時金融金庫特殊借入金ノ元利支拂ヲ保證スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ補助金^{之ヲ通シ}債金ノ額竝ニ前項ノ規定ニ依リ保證スベキ元本ノ額ニ付テハ豫メ帝國議會ノ協贊ヲ求ムベシ

第十四條

政府特殊借入金、特殊預金、特殊金銀信託、債務者特殊借入金及戰時金融金庫特殊借入金ノ債權ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ノ場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 政府ノ指定スル金融機關ニ讓渡セントスルトキ

二 政府ノ指定スル金融機關ニ擔保ニ供シテ貸付ヲ受ケントスルトキ

三 其ノ他勅令ヲ以テ定ムルトキ

前項各號ノ場合ニ於テ前項ノ認可アリタルトキハ當該金融機關ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ債權ヲ讓受ケ又ハ之ヲ擔保トシテ貸付ヲ

爲スコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ當該金融機關ハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラス前項ノ債權ノ讓受又ハ之ヲ擔保トスル貸付ノ業務ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ハ元利支拂ニ付政府ノ保證ナキ債務者特殊借入金ノ債權ニハ之ヲ適用セズ

第一項ノ規定ハ第一項ノ債權ニ對シ強制執行又ハ國稅徵收法ノ規定若ハ國稅徵收ノ例ニ依ル滯納處分ヲ爲スコトヲ妨グズ

第十五條 政府特殊借入金及政府特殊債權ニ關スル事務ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ日本銀行ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

前項ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ハ日本銀行ノ負擔トス

政府ハ日本銀行ニ命ジ政府特殊借入金ノ元利支拂ヲ爲サシムル爲之ガ資金ヲ日本銀行ニ交付スルコトヲ得

第十六條 本法ニ規定スルモノノ外政府特殊借入金、特殊預金、特殊金、信託、債務者特殊借入金、戦時金融金庫特殊借入金、政府特殊債權及第六條第三項ハ第七條第二項及第九條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ムノ規定ニ依リテ爲ス資金ノ融通ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 命令ヲ以テ定ムル會社ノ營業ノ全部ノ讓渡又ハ解散ニ關ス

ル株主總會若ハ社員總會ノ決議又ハ總社員ノ同意ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

命令ヲ以テ定ムル會社ハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ存立時期ノ滿了其ノ他定款ニ定メタル解散事由ノ發生ニ依リテハ解散セズ

第十八條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ヲ以テ定ムル會社ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ目的若ハ存立期、其ノ他解散事由ニ關シ、定款、（註）、變更ヲ命ジ又ハ會社ヲ繼續スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十九條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令

ノ定ムル所ニ依リ設備、[○]權利其ノ文ハ讓渡等ニ因リ資産ノ大部分ガ有

價證券又ハ債權ト爲リタル會社ニ對シ信託會社又ハ信託業務ヲ營ム

銀行一以下信託業者ト總稱ス一ニ具ノ資産ヲ信託シ又ハ具ノ資産ノ

管理ヲ委託スベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ信託業者ハ資産ノ信託ノ引受ヲ爲シ又ハ資産ノ

管理ヲ受託スルコトヲ得ス

[○]前二項ノ場合ニ於テハ信託業者ハ信託業法第四條ノ規定ニ拘ラズ同

條ニ掲グル財産以外ノ財産ノ信託ノ引受ヲ爲スコトヲ得

政府ハ第一項ノ規定ニ基ク命令ニ依リ信託業者ニ具ノ資産ヲ信託シ

又ハ其ノ資産ノ管理ヲ委託シタル會社ニ對シ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ役員ノ數ヲ減少スベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ資産ヲ信託シ又ハ資産ノ管理ヲ委託シタル會社ノ株主總會又ハ社員總會ノ招集ニ關シテハ他ノ法令ノ段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第二十條 企業ノ整備ニ關シ營業ノ全部又ハ一部ヲ廢止又ハ休止シタル會社法令、法令ニ基ク命令又ハ行政官廳ノ指導若ハ斡旋ニ依リ繼續又ハ合併ヲ爲シタル會社ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受ケ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ其ノ經理ニ付必要ナル措置ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ會社ノ資本ノ増加ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ又ハ其ノ減少ヲ制限スルコトヲ得

第二十二條 企業、整備ニ關シ法令、法令ニ基ク命令又ハ行政官廳ノ指導若ハ幹旋ニ依リテ爲ス會社ノ設立、繼續、定款ノ變更、營業ノ全部若ハ一部ノ讓渡若ハ讓受、合併又ハ資本ノ増加ニ關シテハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 命令ヲ以テ定ムル法人解散シタルトキハ其ノ殘餘財産ノ分配ハ金錢以外ノモノヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ法人ノ清算人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ法人財産ノ換價其ノ他

ノ處分及殘餘財産ノ分配ニ付裁判所ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス
裁判所ハ第一項ノ法人ノ清算人ニ對シ法人財産ノ換價其ノ他ノ處分
及殘餘財産ノ分配ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
行政官廳ハ第一項ノ法人ノ清算ニ關シ裁判所ニ對シ必要ナル意見ヲ
述ブルコトヲ得

第二十四條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ企
業、 整備ニ關シ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止又ハ休止シタル者、事業
ニ屬スル設備、權利其ノ他ノ資産ヲ取得又ハ處分シタル者及此等ノ
者ト債務關係アル者ノ金錢債務ノ條件、擔保等ノ調整ニ關シ命令ノ
定ムル所ニ依リ必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得

政府ハ前項ノ規定ニ依ル指示ニ從ヒタル者ニ對シ其ノ指示ニ從ヒタルニ因リ蒙リタル損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ大藏大臣之ヲ定ム

第二項ノ補償金ノ額ニ付テハ豫メ帝國議會ノ協贊ヲ求ムベシ

第二十五條 政府ハ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

第二十六條 本法ノ施行ニ關スル重要事項ニ付政府ノ諮問ニ應ズル爲
企業整備資金委員會ヲ置ク

企業整備資金委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條 企業、整備ニ關シ轉業又ハ廢業ヲ爲ス商工業者ガ國民更
生金庫ニ對シ讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲ス資産ノ評價ニ關スル事項ハ轉
廢業者資産評價委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

企業、整備ニ關シ産業設備營團ガ産業設備營團法第十七條第一項第
一號又ハ第五號ノ規定ニ依リ買受クル設備ノ評價ニ關スル事項ハ産
業設備評價委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

轉廢業者資産評價委員會及産業設備評價委員會ノ組織及權限ハ勅令
ヲ以テ之ヲ定ム

第三十一條 第二十五條ノ規定ニ依リ、報告ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ報告

ヲ爲シ又ハ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ、提出スル

書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者ハ

千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ

從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ第三十九條、第三十條第一號乃至第

六號又ハ前條、ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行

爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ各本條ノ罰金刑ヲ科ス

第三十三條 當該官吏、其ノ他勅令ヲ以テ

定ムル者、第二十八條ノ規定ニ依リ、屬スル事務ニ從事スル職員、政

務ニ

府特殊直入金右ハ政府特殊債權ニ關スル事務ニ従事スル日本銀行職員又ハ此等ノ職ニ在リタル者本法ニ依ル職務執行ニ關シ知得タル法人又ハ人ノ業務上ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十四條 本法ヲ朝鮮又ハ臺灣ニ施行スル場合ニ於テ必要アルトキハ勅令ヲ以テ特別ノ定ヲ爲スコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

臨時租税措置法中左ノ通改正ス

第一條ノ四ニ左ノ一號ヲ加フ

六 法人ノ命令ヲ以テ定ムル場合ニ於ケル資産ノ評價換ニ因ル益金

第一條ノ十八中「命令ヲ以テ定ムル者ニ」ヲ削リ「有價證券」ノ下ニ

「其ノ他命令ヲ以テ定ムルモノ」ヲ加フ

第一條ノ二十八中「命令ヲ以テ定ムル者ニ」ヲ削ル

第一條ノ二十九 企業整備資金措置法ニ規定スル政府特殊借入金ノ利
子ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ分類所得税ヲ輕減シ又ハ所得税法

ニ依ル所得若ハ法人税法ニ依ル所得ノ計算ニ關シ特例ヲ設クルコトヲ得

命令ヲ以テ定ムル金融機關ガ前項ノ政府特殊借入金ノ債權ヲ擔保トシテ貸付ケタル貸付金ノ利子ニ付テハ法人税法ニ依ル所得ノ計算ニ關シ命令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第一條ノ三十 法令。法令ニ基ク命令又ハ行政官廳ノ指導若ハ斡旋ニ依リ昭和十八年一月一日以後ニ於テ其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止又ハ休止シタル法人ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ廢止又ハ休止ノ日以後ニ於テ納付スベキ所得税。法人税。營業税又ハ臨時利得税ヲ輕減スルコトヲ得

企業整備資金措置法案理由書

大東亞戰爭ノ進展ニ伴ヒ企業、整備ニ關シ浮動購買力ノ發生ヲ防止シ國家經濟ノ秩序ヲ維持スル、爲ニハ新ナル方策ヲ講ズルノ要アリ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

參照

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル臨時
租稅措置法中改正法律ヲ裁可シ
茲ニ之ヲ公布セシム

可、重要礦物増産法第三條ノ規定ニ依ル
命令、使用權ノ設定若ハ消滅アリタル年

三、社債ノ利子ニ付テハ百分ノ十二但シ第一條ノ十二規定スル社債ノ利
子ニ付テハ百分ノ十一

第一條ノ十三、明治三十九年法律第三十四號又ハ社債等登録法ニ依リ銀行
(日本銀行ヲ除ク)其ノ他命令ヲ以テ定ムル金融機關ノ登録シタル公債及
社債ノ利子ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條ノ十及所得稅法第二十
一條第一項ノ規定ニ拘ラズ左ノ稅率ニ依リ分類所得稅ヲ賦課ス

一、國債ノ利子ニ付テハ百分ノ五但シ命令ヲ以テ定ムル銀行ノ登録ノ
第一條ノ十八、命令ヲ以テ定ムル法人ガ法令、法令ニ基ク命令又ハ行政
廳ノ指導若ハ幹旋ニ依リ昭和十六年十一月一日以後昭和十七年三月三十
一日迄ニ其ノ事業ニ屬スル設備又ハ權利其ノ他ノ事業ノ統制ノ必要上專
命令ヲ以テ定ムル出資又ハ讓渡ヲ爲シタルトキハ其ノ出資又ハ讓渡ニ對
シ與ヘラレタル有價證券ノ價額ニ關シ出資又ハ讓渡ヲ爲シタル事業年度
ニ於ケル法人稅法ニ依ル所得、營業稅法ニ依ル純益及臨時利得稅法ニ依
ル利益ノ計算ニ付命令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得



第一條ノ二十八 法令、法令ニ基ク命令又
ハ行政官廳ノ指導若ハ轉旋ニ依リ昭和十
八年一月一日以後ニ於テ其ノ事業ニ屬ス
ル設備又ハ權利其ノ他ヲ事業ノ統制ノ必
要上命令ヲ以テ定ムル者ニ讓渡シタル法
人ニシテ行政官廳ノ指導又ハ轉旋ニ依リ
解散ヲ爲サザルモノニ付テハ命令ノ定ム
ル所ニ依リ讓渡ノ日以後ニ於テ納付スベ
キ所得稅、法人稅、營業稅及臨時利得稅ヲ
輕減スルコトヲ得

參照

●信託業法

大正十一年四月二十一日
法律第六十五號

改正 昭和四年第六七號
朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル信託業法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(總理兼大藏
大臣副署)

第四條 信託會社ハ左ニ掲ケル財產以外ノ物
ノ信託ノ引受ヲ爲スコトヲ得ス

- 一 金錢
- 二 有價證券
- 三 金錢債權
- 四 動產
- 五 土地及其ノ定著物
- 六 地上權及土地ノ賃借權



國民更生金庫法

昭和十六年三月
法律第卅二號
總理大臣副署

第三章 業務

第十七條 國民更生金庫ハ左ノ業務ヲ行

フ

- 一 轉業又ハ廢業ヲ爲ス商工業者等ノ爲
ニスル資産ノ管理又ハ處分
 - 二 轉業又ハ廢業ヲ爲ス商工業者等ノ爲
ニスル資金ノ融通
 - 三 轉業又ハ廢業ヲ爲ス商工業者等ノ爲
ニスル債務ノ引受又ハ保證
 - 四 前各號ノ業務ニ附帶スル事業
- 國民更生金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ前
項ニ掲グル業務以外ノ業務ヲ行フコトヲ
得

本法ニ規定スルモノノ外國民更生金庫ノ
業務ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之
ヲ定ム

参照

産業設備管團法

昭和十六年十一月
法律第九十二號

(總理内務大臣藏
商工大臣副署)

第十七條 産業設備管團ハ左ノ業務ヲ行フ

- 一 國家緊要産業ノ設備ニシテ事業者ニ於テ建設又ハ維持スルニト著シク困難ナルモノノ建設又ハ買受
- 二 前號ノ規定ニ依リ取得シタル設備ノ貸付、出資及賣渡
- 三 政府ノ指定シタル規格ニ依ル船舶、船舶用機關及機裝品ノ製造ノ注文
- 四 前號ノ規定ニ依リ注文シタル船舶、船舶用機關及機裝品(製造中ノ船舶、船舶用機關及機裝品ヲ含ム)ノ賣渡
- 五 未動遊休設備ノ賣買及保有
- 六 未動遊休設備ノ活用ニ關スル斡旋
- 七 前各號ノ業務ニ附帶スル事業

産業設備管團ハ前項ニ掲グル業務ノ外特別ノ事情ニ依リ必要アル場合ニ於テハ前項第三號ノ規定ニ依リ注文シタル船舶ヲ保有シ之ヲ貸付クルコトヲ得

産業設備管團ハ政府ノ認可ヲ受ケ前二項ニ掲グル業務以外ノ業務ヲ行フコトヲ得

参照

大藏省

第四條

前ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ

依リ左ノ各號ノ行爲ニ基ク金錢債務關係ノ債權又ハ債務者ノ、

一 事業ノ全部又ハ一部ノ讓渡

二 事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ全部又ハ一部ノ讓渡又ハ收用

三 株式又ハ出資ノ持分ノ讓渡ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノ

四 其ノ他勅令ヲ以テ定ムルモノ

前項ノ規定ハ國民更生命庫ガ國民更生命庫法第十七條ノ規定ニ依リ

資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ國民更生命庫

ノ債務者、資金ノ融通ヲ受クル者ヲ債權者ト看做ス

、

、

、

、

、

株式
出資
持分
讓渡
勅令
以テ
定ム
ルモノ

企業整備資金措置法案

企業整備資金措置法

第一條 本法ハ大東亞戰爭ニ際シ企業整備ニ關シ之ガ促進ヲ圖リ浮動購買力ノ發生ヲ防止シ國家經濟ノ秩序ヲ維持スルヲ以テ目的トス

第二條 政府ハ前條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ廢止又ハ休止シタル事業ニ屬スル設備、權利其ノ他ノ資産ノ保有ヲ爲シ又ハ保有若ハ處分ノ目的ヲ以テスル買取ヲ爲ス者ニ對シ其ノ保有若ハ買取ニ因リ蒙リタル損失ヲ補償シ又ハ補助金ヲ交付スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ主務大臣大藏大臣ニ協議シテ之ヲ定ム

第一項ノ補償金及補助金ノ額ニ付テハ豫メ帝國議會ノ協贊ヲ求ムベシ

第三條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ補償金

又ハ土地、建物、船舶、設備若ハ權利ノ買收代金ノ債務ニ付其ノ全部又ハ一部ノ支拂ニ代ヘ之ヲ債主ヨリノ政府特殊借入金ト爲シ又ハ債主ニ對シ當該買收代金ノ全部若ハ一部ヲ第六條若ハ第七條ノ規定ニ準ジ債主ノ特殊預金若ハ債主ヲ信託者及受益者トスル特殊金錢信託ト爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第四條 左ノ各號ノ場合ニ於ケル金錢債務ノ決濟ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第五條ニ規定スル決濟方法ニシテ債權者又ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ選擇シタルモノニ依リ之ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 事業ノ全部又ハ一部ノ讓渡アリタルトキ
- 二 事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ全部又ハ一部ノ讓渡又ハ收用アリタルトキ
- 三 株式又ハ出資ノ持分ノ讓渡アリタルトキ
- 四 其ノ他勅令ヲ以テ定ムルトキ

前項ノ規定ハ國民更生金庫ガ國民更生金庫法第十七條ノ規定ニ依リ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ國民更生金庫ヲ債務者、資金ノ融通ヲ受クル者ヲ債權者ト看做ス

第五條 前條ノ金錢債務ノ決濟方法ハ左ノ五種トス

- 一 特殊預金ト爲スコト
- 二 特殊金錢信託ト爲スコト
- 三 債務者特殊借入金ト爲スコト
- 四 戰時金融金庫特殊借入金ト爲スコト
- 五 政府特殊借入金ト爲スコト

第六條 特殊預金ノ方法ニ依ル決濟ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ政府ノ指定スル金融機關ヘノ債權者ノ預金ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ當該金融機關ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特殊預金ノ取扱ヲ爲スコトヲ要ス
第一項ノ場合ニ於テ政府必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該金融機關ニ對
シ債務者ニ當該特殊預金ヲ爲スニ必要ナル資金ノ融通ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第七條 特殊金錢信託ノ方法ニ依ル決濟ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支拂フベキ金
額ノ全部又ハ一部ヲ政府ノ指定スル金融機關ヘノ債權者ヲ信託者及受益者トスル金錢信託
ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

前條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八條 債務者特殊借入金ノ方法ニ依ル決濟ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支拂フベ
キ金額ノ全部又ハ一部ヲ債權者ヨリノ債務者ノ借入金ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

第九條 戰時金融金庫特殊借入金ノ方法ニ依ル決濟ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支
拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ戰時金融金庫ニ納付シ債權者ヨリノ戰時金融金庫ノ借入金

ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

第六條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十條 政府特殊借入金ノ方法ニ依ル決濟ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ政府ニ納付シ債務者ヨリノ政府ノ借入金ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ政府必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ債務者ノ納付スベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ納付セシメズシテ之ヲ債務者ニ對スル政府特殊債權ト爲スコトヲ得

第十一條 政府特殊借入金、特殊預金、特殊金錢信託、債務者特殊借入金、戰時金融金庫特殊借入金、政府特殊債權及第六條第三項（第七條第二項及第九條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リ融通スル資金ノ利率、期限其ノ他ノ條件ハ大藏大臣之ヲ定ム

第十二條 特殊預金又ハ特殊金錢信託ノ期限前ノ拂戻又ハ解除及債務者特殊借入金又ハ戰時

金融金庫特殊借入金ノ期限前ノ償還ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府特殊借入金ノ全部又ハ一部ニ付期限前ノ償還ヲ爲スコトヲ得

第十三條 政府ハ特殊預金又ハ特殊金錢信託ノ取扱ヲ爲ス金融機關ニ對シ補助金ヲ交付シ又ハ第六條第三項(第七條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ資金ノ融通ヲ爲シタルニ因リ蒙リタル損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ大藏大臣之ヲ定ム

第一項ノ補助金及補償金ノ額ニ付テハ豫メ帝國議會ノ協贊ヲ求ムベシ

政府ハ債務者特殊借入金又ハ戰時金融金庫特殊借入金ノ元利支拂ヲ保證スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

第十條第一項ノ政府特殊借入金及前項ノ規定ニ依リ保證スベキ元本ノ額ニ付テハ之ヲ通ジ豫メ帝國議會ノ協贊ヲ求ムベシ

第十四條 政府特殊借入金、特殊預金、特殊金錢信託、債務者特殊借入金及戰時金融金庫特殊借入金ノ債權ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ノ場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 政府ノ指定スル金融機關ニ讓渡セントスルトキ

二 政府ノ指定スル金融機關ニ擔保ニ供シテ貸付ヲ受ケントスルトキ

三 其ノ他勅令ヲ以テ定ムルトキ

前項各號ノ場合ニ於テ前項ノ認可アリタルトキハ當該金融機關ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ債權ヲ讓受ケ又ハ之ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ當該金融機關ハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ前項ノ債權ノ讓受又ハ之ヲ擔保トスル貸付ノ業務ヲ行フコト

ヲ得

前項ノ規定ハ元利支拂ニ付政府ノ保證ナキ債務者特殊借入金ノ債權ニ關シテハ之ヲ適用セズ

第一項ノ規定ハ第一項ノ債權ニ對シ強制執行又ハ國稅徵收法ノ規定若ハ國稅徵收ノ例ニ依ル滯納處分ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

第十五條 政府特殊借入金及政府特殊債權ニ關スル事務ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ日本銀行ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

前項ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ハ日本銀行ノ負擔トス

政府ハ日本銀行ニ命ジ政府特殊借入金ノ元利支拂ヲ爲サシムル爲之ガ資金ヲ日本銀行ニ交付スルコトヲ得

第十六條 本法ニ規定スルモノノ外政府特殊借入金、特殊預金、特殊金錢信託、債務者特殊借

入金、戰時金融金庫特殊借入金、政府特殊債權及第六條第三項（第七條第二項及第九條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リテ爲ス資金ノ融通ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 命令ヲ以テ定ムル會社ノ營業ノ全部ノ讓渡又ハ解散ニ關スル株主總會若ハ社員總會ノ決議又ハ總社員ノ同意ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

命令ヲ以テ定ムル會社ハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ存立時期ノ滿了其ノ他定款ニ定メタル解散事由ノ發生ニ依リテハ解散セズ

第十八條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ヲ以テ定ムル會社ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ目的若ハ存立時期其ノ他解散事由ニ關シ定款ノ變更ヲ命ジ又ハ會社ヲ繼續スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十九條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ設備、

權利其ノ他ノ資産ノ出資又ハ讓渡等ニ因リ資産ノ大部分ガ有價證券又ハ債權ト爲リタル會社ニ對シ信託會社又ハ信託業務ヲ營ム銀行(以下信託業者ト總稱ス)ニ其ノ資産ヲ信託シ又ハ其ノ資産ノ管理ヲ委託スベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ信託業者ハ資産ノ信託ノ引受ヲ爲シ又ハ資産ノ管理ヲ受託スルコトヲ要ス

前二項ノ場合ニ於テハ信託業者ハ信託業法第四條ノ規定ニ拘ラズ同條ニ掲グル財産以外ノ財産ノ信託ノ引受ヲ爲スコトヲ得

政府ハ第一項ノ規定ニ基ク命令ニ依リ信託業者ニ其ノ資産ヲ信託シ又ハ其ノ資産ノ管理ヲ委託シタル會社ニ對シ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ役員ノ數ヲ減少スベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ資産ヲ信託シ又ハ資産ノ管理ヲ委託シタル會社ノ株主總會又ハ社員總會ノ招集ニ關シテハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第二十條 企業整備ニ關シ營業ノ全部又ハ一部ヲ廢止又ハ休止シタル會社及法令、法令ニ基ク命令又ハ行政官廳ノ指導若ハ斡旋ニ依リ繼續又ハ合併ヲ爲シタル會社ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受ケ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ其ノ經理ニ付必要ナル措置ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ會社ノ資本ノ増加ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ又ハ其ノ減少ヲ制限スルコトヲ得

第二十二條 企業整備ニ關シ法令、法令ニ基ク命令又ハ行政官廳ノ指導若ハ斡旋ニ依リテ爲ス會社ノ設立、繼續、定款ノ變更、營業ノ全部若ハ一部ノ讓渡若ハ讓受、合併又ハ資本ノ増加ニ關シテハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第三十三條 命令ヲ以テ定ムル法人解散シタルトキハ其ノ殘餘財産ノ分配ハ金錢以外ノモノヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ法人ノ清算人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ法人財産ノ換價其ノ他ノ處分及殘餘財産ノ分配ニ付裁判所ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

裁判所ハ第一項ノ法人ノ清算人ニ對シ法人財産ノ換價其ノ他ノ處分及殘餘財産ノ分配ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

行政官廳ハ第一項ノ法人ノ清算ニ關シ裁判所ニ對シ必要ナル意見ヲ述ブルコトヲ得

第二十四條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ企業整備ニ關シ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止又ハ休止シタル者、事業ニ屬スル設備、權利其ノ他ノ資産ヲ取得又ハ處分シタル者及此等ノ者ト債務關係アル者ノ金錢債務ノ條件、擔保等ノ調整ニ關シ命令ノ定ムル所ニ依リ必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得

政府ハ前項ノ規定ニ依ル指示ニ從ヒタル者ニ對シ其ノ指示ニ從ヒタルニ因リ蒙リタル損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ大藏大臣之ヲ定ム

第二項ノ補償金ノ額ニ付テハ豫メ帝國議會ノ協贊ヲ求ムベシ

第二十五條 政府ハ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

第二十六條 本法ノ施行ニ關スル重要事項ニ付政府ノ諮問ニ應ズル爲企業整備資金委員會ヲ置ク

企業整備資金委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條 企業整備ニ關シ轉業又ハ廢業ヲ爲ス商工業者等ガ國民更生金庫ニ對シ讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲ス資産ノ評價ニ關スル事項ハ轉廢業者資産評價委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

企業整備ニ關シ産業設備營團ガ産業設備營團法第十七條第一項第一號又ハ第五號ノ規定ニ依リ買受クル設備ノ評價ニ關スル事項ハ産業設備評價委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

轉廢業者資産評價委員會及産業設備評價委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勅令ヲ以テ定ムル者ヲシテ本法ニ規定スル職權ノ一部ヲ行ハシムルコトヲ得

第二十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第三條ノ規定ニ基ク命令ニ違反シタル者

二 第四條ノ規定ニ違反シタル者

三 第二十三條第二項ノ規定ニ違反シ又ハ同條第三項ノ規定ニ基ク命令ニ違反シタル者

第三十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ六月以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第六條第二項(第七條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ違反シタル者

二 第十二條第一項ノ規定ニ違反シタル者

三 第十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者

四 第十八條ノ規定ニ基ク命令ニ違反シタル者

五 第十九條第一項若ハ第四項ノ規定ニ基ク命令ニ違反シ又ハ同條第二項ノ規定ニ違反シ

タル者

六 第二十一條ノ規定ニ基ク命令又ハ制限ニ違反シタル者

七 第二十五條ノ規定ニ依ル臨檢検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

第三十一條 第二十五條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ本法若ハ本法

ニ基キテ發スル命令ニ依リ提出スル書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處

ス

第三十二條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ

人ノ業務ニ關シ第二十九條、第三十條第一號乃至第六號又ハ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ各本條ノ罰金刑ヲ科ス

第三十三條 當該官吏其ノ他勅令ヲ以テ定ムル者、第二十八條ノ規定ニ依リ政府ノ職權ノ一部ヲ行フ者(其ノ者ガ法人ナルトキハ當該職權ニ屬スル事務ニ從事スル職員)、政府特殊借入金若ハ政府特殊債權ニ關スル事務ニ從事スル日本銀行職員又ハ此等ノ職ニ在リタル者本法ニ依ル職務執行ニ關シ知得タル法人又ハ人ノ業務上ノ祕密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十四條 本法ヲ朝鮮又ハ臺灣ニ施行スル場合ニ於テ必要アルトキハ勅令ヲ以テ特別ノ定ヲ爲スコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

臨時租稅措置法中左ノ通改正ス

第一條ノ四ニ左ノ一號ヲ加フ

六 法人ノ命令ヲ以テ定ムル場合ニ於ケル資産ノ評價換ニ因ル益金

第一條ノ十八中「命令ヲ以テ定ムル者ニ」ヲ削リ「有價證券」ノ下ニ「其ノ他命令ヲ以テ定ムルモノ」ヲ加フ

第一條ノ二十八中「命令ヲ以テ定ムル者ニ」ヲ削ル

第一條ノ二十九 企業整備資金措置法ニ規定スル政府特殊借入金ノ利子ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ分類所得稅ヲ輕減シ又ハ所得稅法ニ依ル所得若ハ法人稅法ニ依ル所得ノ計算ニ關シ特例ヲ設クルコトヲ得

命令ヲ以テ定ムル金融機關ガ前項ノ政府特殊借入金ノ債權ヲ擔保トシテ貸付ケタル貸付金ノ利子ニ付テハ法人稅法ニ依ル所得ノ計算ニ關シ命令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第一條ノ三十 法令、法令ニ基ク命令又ハ行政官廳ノ指導若ハ斡旋ニ依リ昭和十八年一月一日以後ニ於テ其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止又ハ休止シタル法人ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ廢止又ハ休止ノ日以後ニ於テ納付スベキ所得稅、法人稅、營業稅又ハ臨時利得稅ヲ輕減スルコトヲ得

企業整備資金措置法案理由書

大東亞戰爭ノ進展ニ伴ヒ企業整備ニ關シ之ガ促進ヲ圖リ浮動購買力ノ發生ヲ防止シ國家經濟ノ秩序ヲ維持スル爲ニハ新ナル方策ヲ講ズルノ必要アリ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

極秘

企業整備資金措置法案第三條修正案

舊第三條

政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必照アリト認ムルトキハ補償金又

ハ土地、建物、船舶、設備若ハ權利ノ買收代金ノ價務ニ付其ノ全部又
ハ一部ノ支拂ニ代ヘ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ債主ヨリノ政府特殊借
入金ト爲シ又ハ第六條若ハ第七條ノ規定ニ違シ債主ノ特殊預金若ハ債
主ヲ信託者及受益者トスル特殊金銭信託ト爲スコトヲ得

新第三條

政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必照アリト認ムルトキハ命令ノ定

ムル所ニ依リ補償金又ハ土地、建物、船舶、設備若ハ權利ノ買收代金
ノ價務ニ付其ノ全部又ハ一部ノ支拂ニ代ヘ之ヲ債主ヨリノ政府特殊
借入金ト爲シ又ハ債主ニ對シ當該買收代金ノ全部又ハ一部ヲ第六條若
ハ第七條ノ規定ニ違シ當該債主ノ特殊預金若ハ當該債主ヲ信託者及受
益者トスル特殊金銭信託ト爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

極秘

企業整備資金借付法案第三條修正案

舊第三條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必照アリト認ムルトキハ補償金又ハ土地、建物、船舶、設備若ハ權利ノ買收代金ノ價務ニ付其ノ全部又ハ一部ノ支拂ニ代ヘ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ債主ヨリノ政府特殊借入金ト爲シ又ハ第六條若ハ第七條ノ規定ニ準ジ債主ノ特殊預金若ハ債主ヲ信託者及受益者トスル特殊金銭信託ト爲スコトヲ得

新第三條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必照アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ補償金又ハ土地、建物、船舶、設備若ハ權利ノ買收代金ノ價務ニ付其ノ全部又ハ一部ノ支拂ニ代ヘ之ヲ債主ヨリノ政府特殊借入金ト爲シ又ハ債主ニ對シ當該買收代金ノ全部又ハ一部ヲ第六條若ハ第七條ノ規定ニ準ジ當該債主ノ特殊預金若ハ當該債主ヲ信託者及受益者トスル特殊金銭信託ト爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

極秘

企業整備資金措置法案(9)

總一八六六

第一條 本法ハ大東亞戰爭ニ際シ企業ノ整備ヲ促進シ浮動購買力ノ發生ヲ防止シ國家經濟ノ秩序ヲ維持スルヲ以テ目的トス

第二條 政府ハ企業ノ整備ヲ促進スル爲必照アルトキハ廢止又ハ休止シタル事業ニ關スル資產ノ買取又ハ保有ニ關シ產業設備營團、國民更生金庫其ノ他命令ヲ以テ定ムル者ガ之ニ因リ蒙リタル損失ヲ補償シ又ハ此等ノ者ニ對シ必照ナル補助金ヲ交付スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

第三條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必照アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ補償金、補助金又ハ土地、建物、設備若ハ權利ノ買收代金其ノ他ノ政府ノ債務ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノニ付其ノ金額ノ全部又ハ一部ニ相當スル金額ヲ當該債主ヨリ政府特殊貸上金トシテ借入レタルモノト爲スコトヲ得
政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必照アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル

所ニ依リ他ノ法令ニ依リ國債證券ヲ交付スルコトヲ得ル場合ニ於テ
國債證券ノ交付ニ代ハ當該債主ヨリノ政府特殊貸上金トシテ借入レ
タルモノト爲スコトヲ得

政府特殊貸上金ノ利率、期限其ノ他必要ナル條件及態樣ハ大藏大臣
之ヲ定ム

政府ハ政府特殊貸上金ノ全部又ハ一部ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ期
限前ノ償還ヲ爲スコトヲ得

第四條 政府特殊貸上金ノ債權ノ讓渡又ハ質入ハ之ヲ無効トス但シ左
ニ掲グル場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケタルト
キハ此ノ限ニ在ラズ

一 金融機關ヨリノ債務ノ辨濟ニ充當スルトキ

二 金融機關ニ讓渡シ又ハ金融機關ヨリ之ヲ擔保トシテ貸付ヲ受ク
ルトキ

三 其ノ他命令ヲ以テ定ムルトキ

金融機關ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府特殊貸上金ノ債權ヲ辨済ニ受
入レ又ハ之ヲ讓受ケ若ハ之ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコトヲ要ス

第五條

左ノ各號ニ掲グル場合ニ於ケル金錢債權債務ノ決済ハ第六條

第一項、第七條、第八條第一項、第九條第一項ニ規定スル特殊決済

方法ニシテ債權者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ指定シタルモノニ依ルコ

トヲ要ス但シ勅令ヲ以テ定ムルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一、營業又ハ事業ノ全部又ハ一部ヲ讓受ケタルトキ

二、營業又ハ事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ全部又ハ一部ヲ讓受ケ又ハ

收用シタルトキ

三、株式又ハ出資ヲ讓受ケタルトキニシテ勅令ノ定ムルトキ

四、其ノ他勅令ノ定ムルトキ

債權者ガ前項ノ指定ヲ爲サザルトキハ債務者ノ選擇シタルモノヲ以

テ債權者ノ指定シタルモノト看做ス

第六條

前條第一項各號ニ掲グル場合ニ於ケル金錢債權債務關係ノ債

務者（以下單ニ支拂債務者ト稱ス）ガ前條ノ債權者ノ指定ニ從ヒ又ハ債權者ノ同意ヲ得テ其ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ニ相當スル額ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル金融機關ニ於ケル債權者ノ特殊預金又ハ債權者ヲ受益者トスル特殊金錢信託ト爲シタルトシ其ノ金額ノ限度ニ於テ當該支拂債務ハ消滅ス

政府ノ指定スル金融機關ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特殊預金又ハ特殊金錢信託ヲ取扱フベシ

特殊預金又ハ特殊金錢信託ノ拂戻又ハ解除ハ政府ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

政府ハ第一項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該金融機關ニ對シ支拂債務者ガ當該特殊預金又ハ特殊金錢信託ト爲スニ必要ナル資金ノ融通ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第七條 支拂債務者ガ第五條ノ債權者ノ指定ニ從ヒ又ハ債權者ノ同意

ヲ得テ其ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ニ相當スル金額ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ當該債權者ニ對スル自己ノ特殊借入金ト爲シタルトキハ其ノ金額ノ限度ニ於テ當該支拂債務ハ消滅ス

第八條 戰時金融金庫ハ支拂債務者ガ第五條ノ債權者ノ指定ニ從ヒ又ハ債權者ノ同意ヲ得テ甲出ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該支拂債務者ヨリ其ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ニ相當スル金額ヲ納付セシメテ當該債權者ヨリノ特殊借入金トシテ借入レタルモノト爲スベシ

前項ノ場合ニ於テハ其ノ金額ノ限度ニ於テ支拂債務ハ消滅ス
政府ハ第一項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ戰時金融金庫ニ對シ支拂債務者ガ納付スルニ必要ナル資金ノ融通ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第九條 政府ハ支拂債務者ガ第五條ノ債權者ノ指定ニ從ヒ又ハ債權者ノ同意ヲ得テ甲出ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該支

拂債務者ヨリ其ノ支拂フベキ金額。全部又ハ一部ニ相當スル金額ヲ納付セシメテ當該債權者ヨリ、政府特殊貸上金トシテ借入セラルモ、ト爲スベシ

前項ノ場合ニ於テハ其ノ金額ノ限於ニ於テ當該支拂債務ハ消滅ス。政府ハ必要アリト認ムルトキハ命令ヲ定ムル所ニ依リ第一項ノ規定ニ依リ納付セシムベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ納付セシメザルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ其ノ金額ノ限於ニ於テ當該支拂債務者ニ對シ政府特殊債權ヲ取得ス

第十條 特殊預金。特殊金錢信託。支拂債務者ノ特殊借入金。戰時金融金庫特殊借入金。政府特殊債權及第六條第四項又ハ第八條第三項ノ規定ニ依ル資金ノ融通ノ利率。期限。其ノ他ノ條件及態様ハ大藏大臣之ヲ定ム

特殊預金。特殊金錢信託。支拂債務者ノ特殊借入金ノ債權。戰時金融金庫特殊借入金ノ債權。讓渡又ハ質入ハ之ヲ無効トス但シ第四條第

一項各號ニ掲グル場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限りニ在ラズ

政府必要アリト認ムルトキハ支拂債務者ノ特殊借入金、戰時金融金、戰時特殊借入金及第六條第四項ノ規定ニ依ル資金、融通ニ付其ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ヲ保證スルコトヲ得

第四條第二項ノ規定ハ政府ガ其ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ヲ保證シタル支拂債務者ノ特殊借入金及戰時金融金、戰時特殊借入金ニ付之ヲ準用ス

第三條第四項ノ規定ハ支拂債務者ノ特殊借入金及戰時金融金、戰時特殊借入金ニ付之ヲ準用ス

第十一條 政府特殊貸上金及政府特殊債權ニ關スル事務ハ命令ノ定ムル所ニ依リ日本銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第十二條 政府特殊貸上金、政府特殊債權、特殊預金、特殊金銭信託、支拂債務者ノ特殊借入金、戰時金融金、戰時特殊借入金、第六條第四項

及第八條第三項ノ規定ニ依ル命令ノ融通ニ關スル事項ハ本法ニ規定
スルモノ、外命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 命令ノ定ムル會社ノ營業ノ全部ノ讓渡又ハ解散ニ關スル株主總會若ハ社員總會ノ決議又ハ總社員ノ同意ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ
命令ノ定ムル會社ハ商法其ノ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ存立時期ノ滿了其ノ他定款ニ定メタル解散事由ノ發生ニ依リテハ解散セズ

第十四條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル會社ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ目的若ハ存續期間其ノ他解散事由ニ關スル定款ノ記載事項ノ變更ヲ命ジ又ハ會社ヲ繼續スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十五條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ設備等ノ出資又ハ讓渡等ニ因リ資産ノ半額以上ガ有價證券又ハ債權ト爲リタル會社ニ對シ信託會社又ハ信託業務ヲ營ム銀行ニ其ノ資産ヲ信託シ又ハ其ノ資産ノ管理ヲ委託スベキコトヲ命ズルコトヲ得

信託會社又ハ信託業務ヲ營ム銀行ハ信託業務法第四條ノ規定ニ拘ラズ
前項ノ會社ノ同條ニ掲グル財産以外ノ資産ノ信託ノ引受ヲ爲スコト
ヲ得

政府ハ第一項ノ規定ニ基ク命令ニ依リ信託會社又ハ信託業務ヲ營ム
銀行ニ其ノ資産ヲ信託シ又ハ其ノ資産ノ管理ヲ委託シタル會社ニ對
シ商法其ノ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ役員ノ數
ヲ減少スベキコトヲ命ジ又ハ株主總會ノ召集ニ關シ特例ヲ設クルコ
トヲ得

第十六條 企業ノ整備ニ伴ヒ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止、休止又ハ縮
小シタル會社及本法其ノ他ノ法令ニ基ク命令又ハ企業ノ整備ニ關ス
ル行政官廳ノ指導若ハ斡旋ニ依リ繼續又ハ合併ヲ爲シタル會社ハ命
令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受ケ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ其ノ
經理ニ付必要ナル措置ヲ爲スコトヲ得

第十七條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令

ノ定ムル所ニ依リ企業ノ整備ニ關聯シ事業ヲ廢止、休止又ハ縮小シタル者ニ對シ因リテ生ジタル餘剩資金ノ運用ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十八條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ會社ノ資本ノ増加ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ又ハ其ノ減少ヲ制限スルコトヲ得

第十九條 企業ノ整備ニ關聯シ法令、法令ニ基ク命令又ハ行政官廳ノ指導若ハ斡旋ニ依リテ爲ス會社ノ設立、繼續、定款ノ變更、事業ノ全部若ハ一部ノ讓渡、合併、又ハ資本ノ増加ニ伴ヒ必要ナル手續ニ關シテハ商法其ノ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第二十條 命令ヲ以テ定ムル法人解散シタルトキハ清算人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ法人財産ノ換價其ノ他ノ處分及殘餘財産ノ分配ニ付裁判所ノ許可ヲ受クベシ

裁判所ハ前項ノ場合ニ於テ法人財産ノ換價其ノ他ノ處分及殘餘財産ノ分配ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

行政官廳ハ前二項ノ場合ニ於テ裁判所ニ對シ第一條ノ目的達成ノ爲必要ナル意見ヲ述ブルコトヲ得

第二十一條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ本法ニ定ムルモノノ外企業ノ整備ニ伴ヒ事業ノ全部若ハ一部ヲ廢止、休止若ハ縮小シタル者又ハ設備其ノ他ノ資産ヲ取得若ハ處分シタル者及此等ノ者ト債權債務關係アル者ノ金錢債權債務ノ條件、擔保等ノ調整ニ關シ命令ノ定ムル所ニ依リ必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得

政府ハ前項ノ規定ニ依ル指示ニ從ヒタル者ニ對シ之ニ因リ生ジタル損失ヲ補償スルコトヲ得

第二十二條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ノ施行ニ關シ必要ナル事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ帳簿、書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得